

平成 28 年度静岡福祉大学卒業式 学長式辞

本日、学士課程を無事終了された 166 名の皆様に学士の学位を授与するとともに、キャリアデザイン・カレッジを修了した 4 名の方に修了証を授与する運びとなりました。

ご来賓の焼津市長、焼津市議会議長をはじめとする皆様、そして列席の理事長、副学長、学部長、学科長とともに、ご卒業を心からお慶び申し上げます。あわせて、本日の卒業式を迎えるまでご支援を賜りましたご家族ならびに関係者の皆様にも心から御礼申し上げます。

また、本日の卒業生たちに対し熱意を持って指導にあたった教員の皆様、学生生活をしっかりと支え続けた職員の皆様にも、この場を借りて改めて感謝いたします。

さて、卒業生の皆様は本日より、いよいよ社会人として歩み始めます。高等教育機関で身につけた専門的な知識と専門的な技術を携え、自信を持って社会人としての第一歩を歩むことでしょう。

静岡福祉大学の学生は、他人の痛みが分かる、優しさにあふれているという声を聞きます。相手に共感するという能力は、皆様が自信を持ってよい、誇りに思っよい素晴らしい力にほかなりません。

しかし、卒業後はその力に加え、ぜひ実践力を発揮してほしいと思います。組織のなかで、与えられた仕事をチームのメンバーと共に、確実に実行していく力です。

社会に出て、どのような組織にいようと、どのような仕事をしようとも、物事をマネジメントする能力を発揮することが求められます。決められた方針に基づいて、決められた方向に向かって、一つひとつの仕事を着実にこなしていくことが求められます。そのときに必要な考え方の基本は、「自分は物事を正しくおこなう」という信念、「正しい方法や手続きに沿っている」という自信ではないかと思います。

その一方で、リーダーシップを発揮しなければならない瞬間も訪れることでしょう。方針を決め、方向を決めるといった責任を負わねばならないことがあります。組織のなかで、チームをまとめて引っ張っていく力、自ら率先して行動していくことも求められます。

そんなときには、「正しいことをおこなっている」という信念、「自分の目指す方向は間違っていない」という自信を持っていただきたいと思います。

経営学者のドラッカーがこんな言葉を残しています。「Management is doing

things right; leadership is doing the right things.」という言葉です。直訳すれば、マネジメントとは、物事を正しく行うことであり、リーダーシップとは、正しいことを行うことであるという意味でしょう。

社会に出て、共感能力に加え、皆様にはぜひこの二つの能力を発揮することを期待したいと思います。

皆様が羽ばたいていく先では、多くの方が待ち受けています。多くの方が、それぞれの領域で学んだ皆様の能力に期待しています。ぜひマネジメントを発揮する場でも、リーダーシップを発揮する場においても、そうした期待に応えて欲しいと心から願っています。

式辞の最後にあたり、皆様お一人お一人が幸せな人生を過ごされることをお祈り申し上げます。

本日は誠におめでとうございます。